

令和2年度実施

令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行状況
点検・評価報告書

令和2年9月

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

目 次

- 1 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1
 - 2 米子市日吉津村中学校組合教育委員会について・・・・・・・・ P.1
 - 3 箕蚊屋中学校の状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1
 - 4 教育委員会の構成及び会議の開催状況・・・・・・・・ P.2
 - 5 教育委員会での審議状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
 - 6 点検・評価と米子市教育振興基本計画について・・・・・・・・ P.3
 - 7 点検・評価の方法について・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
 - 8 点検・評価結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4
 - 9 点検・評価票・・・・・・・・・・・・・・・・ P.6
 - 10 学識経験者の知見・・・・・・・・・・・・・・・・ P.38
- 別紙 米子市教育振興基本計画体系図・・・・・・・・ P.39

1 点検・評価の目的

米子市日吉津村中学校組合教育委員会では、平成20年度から毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、地方教育行政法）第26条の規定に基づく点検・評価及び公表）

その目的は、自ら事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、課題や問題点を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていこうとするものです。

2 米子市日吉津村中学校組合教育委員会について

米子市日吉津村中学校組合は、組合を組織する米子市（巖地区、春日地区、伯仙地区）と日吉津村の中学校事務を共同処理するため、組合立箕蚊屋中学校を設置し、箕蚊屋中学校に関する教育事務を管理執行するもので、組合の執行機関としての教育委員会は、地方教育行政法第21条に規定する事務を管理執行しています。

3 箕蚊屋中学校の状況

箕蚊屋中学校の状況は次のとおりです。

(1) 生徒数及び学級数（令和元年5月1日現在）

（単位：人、学級）

区分	1学年	2学年	3学年	特別支援	合計
男子	77	92	58	10	237
女子	64	75	78	3	220
合計	141	167	136	13	457
学級数	5	5	4	4	18

(2) 学校施設

区 分	施 設 規 模	
校地面積	27,935 m ²	
建物延べ床面積	6,529 m ²	
内 訳	本校舎	鉄筋コンクリート造3階建（3,107 m ² ）
	特別教室棟	鉄骨造2階建（1,690 m ² ）
	体育館	鉄骨造平屋建（936 m ² ）
	武道館	鉄骨造平屋建（300 m ² ）
	その他	部室、倉庫、灯油庫、プロパン庫（計424 m ² ）
プール施設	2,242 m ² （建物部分は72 m ² ）	

4 教育委員会の構成及び会議の開催状況

(1) 教育委員会の構成

米子市日吉津村中学校組合教育委員会委員名簿 (H31. 4. 1~R2. 3. 31)

職名	氏名	任期	備考
委員	井田博之	H29. 10. 29~R3. 10. 28	教育長職務代理者 日吉津村教育委員会教育長
委員	金山正義	H30. 10. 24~R4. 10. 23	米子市教育委員会委員
委員	松本公文	H28. 8. 10~R1. 10. 26 R1. 10. 27~R5. 10. 26	任期満了 日吉津村教育委員会委員
委員	荒川陽子	H28. 10. 4~R2. 10. 3	米子市教育委員会委員
教育長	浦林実	H30. 4. 1~R1. 10. 3 R1. 10. 4~R4. 10. 3	任期満了 米子市教育委員会教育長

(2) 会議の開催状況

教育委員会の会議は必要に応じて開催し、令和元年度は3回開催しています。

5 教育委員会での審議状況

教育委員会で令和元年度に審議したものは、次のとおりです。

※議案番号は、暦年で付しています。

- 令和元年米子市日吉津村中学校組合教育委員会（令和元年8月21日）
議案第2号 平成30年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
- 令和元年米子市日吉津村中学校組合教育委員会（令和2年3月12日）
議案第1号 組合立学校の県費負担教職員の異動の内申について
- 令和元年米子市日吉津村中学校組合教育委員会（令和2年3月17日）
議案第2号 令和元年度米子市日吉津村中学校組合一般会計補正予算（補正第1回）について
議案第3号 令和2年度米子市日吉津村中学校組合一般会計予算について
- その他
議案第1号 令和2年度に使用する中学校各教科（特別の教科道徳を除く）の教科用図書の採択について（令和元年7月30日）
議案第4号 鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について（令和2年3月26日）
議案第5号 米子市日吉津村中学校組合立学校の教職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について（令和2年3月26日）

6 点検・評価と米子市教育振興基本計画について

米子市教育委員会では、平成24年度に策定した「米子市教育振興基本計画」(以下「基本計画」といいます。)において、教育の基本理念や基本目標からなる基本構想を実現するための取組を示した基本施策については、平成29年度からの5年間の後期期間の見直しを行い、体系的かつ効果的な教育の基本施策を実施しています。

箕蚊屋中学校は、組合立の学校ですが、運用として米子市立中学校と一体的に扱われ、同一步調の教育方針により教育が推進されています。

このため、学習指導、生徒指導等に関する教育はもとより、学校運営に関する事務についても米子市立中学校と同様に処理されています。

令和元年度に実施した事務の管理及び執行状況の点検・評価に当たり、本組合教育委員会は、関係する8つの基本施策について、その推進状況や課題等を踏まえて評価を行いました。

令和元年度事務の管理及び執行状況において点検・評価した基本施策

- 基本施策1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成
- 基本施策2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成
- 基本施策2-2 安全で安心な学校施設の改善
- 基本施策2-3 環境に配慮した学校教育環境整備の推進
- 基本施策2-4 学校のICT環境の整備
- 基本施策2-5 通学路の安全確保
- 基本施策2-6 学校図書館の充実
- 基本施策4-1 健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成

7 点検・評価の方法について

(1) 点検・評価の流れ

- ① まず、各担当課において、後期基本施策に該当する「主な取組(個別事業)」について点検・評価を行い、その結果を総合して基本施策の評価を行いました。(1次評価)
- ② 次に、教育委員会事務局及び関係各課で組織する評価委員会が、各担当課の評価を参考にして基本施策の評価を行いました。(2次評価)
- ③ 最後に、組合教育委員会が、評価委員会の評価を参考にして、基本施策の最終的な評価を行いました。(3次評価)
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策により、3月の事業が実施できなかった場合については、数値目標に12分の11を掛け合わせ、目標値を下方修正して評価を行いました。

(2) 点検・評価の区分

「主な取組(個別事業)」の点検・評価については、取組状況及び数値目標に対する実績を評価基準に基づき◎から×の4段階で評価しました。

評価区分		内 容
◎	達成	優れた取組や状況等が見られ、数値目標が100%以上となり、順調に目標が達成されたもの
○	概ね達成	良い取組や状況等が見られ、数値目標が80%以上となり、概ね順調に目標が達成されたもの
△	あまり達成できなかった	課題が少なからずあり、数値目標が80%未満となり、目標があまり達成できなかったもの または、一定の成果はあったが新たな課題が生じたもの
×	未達成	課題が多く、まだ改善に向けた取組に着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど、目標がほとんど達成できなかったもの

基本施策評価（総合評価）については、主な取組（事務事業名）の評価及び取組状況の総括を参考に、基本計画の後期期間（平成29年度～令和3年度）において、評価年度での基本施策の到達度の観点から、総合的にSからDの5段階で評価しました。

評価区分		内 容
S	目標達成	基本施策において、全ての取組の目標が達成されたもの
A	順調	基本施策において、取組の進捗状況が順調なもの
B	概ね順調	基本施策において、取組の進捗状況が概ね順調なもの
C	やや遅れている	基本施策において、取組の進捗状況がやや遅れているもの
D	遅れている	基本施策において、全ての取組の進捗状況が遅れているもの

8 点検・評価結果の概要

(1) 総合評価

評価した8つの基本施策のうち、目標達成したもの（S）は3施策、順調としたもの（A）は5施策、概ね順調、やや遅れている、遅れているもの（B、C、D）はありませんでした。

全体として順調に進捗したものと評価しています。

なお、順調（A）と評価した基本施策においても、主な取組（個別事業）には、概ね達成（○）もあることから、個別に課題のある事業について、数値目標への対応を図っていく必要があります。

基 本 施 策	評 価
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	A
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	A
2-2 安全で安心な学校施設の改善	S
2-3 環境に配慮した学校教育環境整備の推進	S

2-4	学校のICT環境の整備	A
2-5	通学路の安全確保	S
2-6	学校図書館の充実	A
4-1	健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成	A

(2) 基本施策ごとの評価

基本施策ごとに見ると、「豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成」では、順調（A）の評価となっています。

日吉津小学校と箕蚊屋中学校のスクールソーシャルワーカーで連携し情報交換ができるよう検討すること、スクールソーシャルワーカーの存在は重要であるので、増員を含めた支援を検討してほしい。また、不登校生徒数が高学年になるほど増加していることについて、しっかり分析し改善を図ってほしいとの意見や、主な取組①心の教育の充実において、リーダー研修会の実施にしっかりと取り組める様な工夫が必要であるとの見識がありました。

次に、「確かな学力を身につけた子どもの育成」では、順調（A）の評価となっています。

学力向上については、理解度に合わせた指導で全体の底上げにつなげるよう意見がありました。

次に、「安全で安心な学校施設の改善」では、目標達成（S）の評価となっています。

老朽化により改修、修繕が必要となる箇所が増えている、学校の環境整備も含め、引き続き学校施設の改善に取り組むよう意見がありました。

次に、「環境に配慮した学校教育環境整備の推進」では、目標達成（S）の評価となっています。

普通教室エアコン設置については、機器調達等の課題もあったが関連部署と施工業者の努力により、短期間で十分要求を満たすものに完成したとの意見がありました。

次に、「学校のICT環境の整備」は、順調（A）の評価となっています。

OSのセキュリティー対策や端末使用時のフィルタリングに配慮するよう意見がありました。

次に、「通学路の安全確保」では、目標達成（S）の評価となっています。

地域の事は公民館長が一番よく知っているので連絡協議会のメンバーに加えることも検討できるとの見識がありました。

次に、「学校図書館の充実」は、順調（A）の評価となっています。

前年度に比べ、貸出冊数が伸びていることは、読書に繋がる取組みによる効果と見られるので、読書習慣の醸成を継続するよう意見がありました。

最後に、「健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成」では、順調（A）の評価となっています。特段の意見及び指摘事項はありませんでした。

9 点検・評価票

基本施策の点検・評価（様式2）に続けて個別事業の評価票（様式1）を掲載しております。

令和 2 年度実施
令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 学校教育課 指導担当・人権教育担当

基本施策	番 号	1-1	
	項目名	豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	
	概 要	<p>昨今の子どもたちには、他者と協調し、人を思いやる心や感動する心や自尊感情の希薄さが見受けられる。また、そうした背景の中で起こるいじめ、不登校、学級が機能しない状況など、様々な課題が見られる。</p> <p>そこで、自他を尊重する態度の育成と児童生徒の自主的・自発的な活動を小中学校が連携して推進するため、様々な分野の教育の充実に努める。</p>	
所 管	学校教育課 指導担当・人権教育担当		
主な取組* (事務事業名)	番号*	事務事業名*	個別事業評価*
	①	心の教育の充実	○
	②	人権教育の充実	◎
	③	生徒指導の充実	○
	④	キャリア教育の充実	◎
	⑤	環境教育の充実	◎
取組状況の総括	<p>【成果】</p> <p>生徒の自治力の向上が図られてきており、その成果が、人権意識や自尊感情の向上につながっている。また、「ふるさとキャリア教育」における全体計画を示したことで学校において積極的な取組が行われ、生徒自身の将来の夢や目標を持つ意識の向上につながった。</p> <p>【課題】</p> <p>地域への関心や意識が低く、取組の工夫が必要である。</p> <p>【改善策】</p> <p>ふるさとを知り、良さに気づき、ふるさとを愛する心の醸成を図るふるさと教育を一層計画的・効果的に進めていく。</p>		
基本施策評価* (総合評価)	S	(A)	B C D
評価理由*	一部項目に課題は残るものの、各事業とも、数値目標の達成状況と、内容的な前進を勘案し、この評価とした。		
教育委員の 意見・指摘	日吉津小学校と箕蚊屋中学校のスクールソーシャルワーカーで連携し情報交換ができるよう検討すること。		

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
I-1 豊かな人間性と創造力を持った子ども育成	米子市小中一貫教育推進事業	<p>【令和元年度目標】 中学校区の取組のさらなる充実を図るとともに、情報共有・情報発信を行う。特に児童生徒の自主的・自発的な取組に重点を置き推進する。</p>	<p>【取組状況】 中学校区において小・中学生によるリーダー研修会を定期的に開くことで、児童生徒の自主的・自発的活動のより一層の充実を図っている。</p>	
①心の教育の充実	<p>義務教育の9年間の学びを連続したものととらえ、各中学校区で「めざす子ども像」を共有し、内容を系統化したり、指導を継続化したりすることによって、学校教育における課題を解決し、確かな学力の定着や豊かな人間性と創造力の育成を図る。</p> <p>各校区の最新の年間構造図を作成するとともに、取組の実践事例集を作成し、各校区の情報を全市で共有する。また、児童生徒の自主的・自発的な取組の一環として、本市すべての小中学校が合同で「楽しく安心な学校づくりサミット」を開催する。</p> <p>各中学校区の推進協議会に担当指導主事が参加し、推進状況の把握と取組への助言を行う。</p>	<p>【改善方法】 中学校区において小・中学生によるリーダー研修会を定期的に開くことで、児童生徒の自主的・自発的活動のより一層の充実を図る。</p> <p>【前年度の成果・課題】 中学校区で取組を共有し、情報発信したことで、効果的な実践となった。引き続き、自主的・自発的な取組を推進していく。</p> <p>【数値目標】・・・全国学力学習状況調査の質問項目からボランティア活動に関する問いが削除されたため、数値目標を変更。 ○全国学力学習状況調査の質問紙において「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答する生徒の割合が全国平均を上回る。 ○小・中学生合同のリーダー研修会を、年間3回以上開催する。</p> <p>【前年度実績値】 H30年度の全国学力学習状況調査の質問紙において、地域社会などでボランティア活動に参加したことがあると回答した生徒の割合。 [中学校] 全国：51.8%</p>	<p>【成果】 中学校区において年間2回のリーダー研修会を実施した。校区リーダー研修会の取組が定着し、各学校の自治の取組を推進するためのよい情報交換の場となっている。</p> <p>【課題】 学校内における自治の力は育っていると思われるが、数値目標の実績値から、地域や社会をよくしようとする意識を高める必要がある。</p> <p>【数値目標の実績値】 ○全国学力学習状況調査の質問紙において、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合。 [中学校] 全国：39.4% R元年度：全国平均を下回った。</p> <p>○校区小・中学生合同のリーダー研修会の回数 2回</p>	

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
<p>1-1 ②人権教育の充実</p> <p>人権教育推進事業</p>	<p>人権教育推進事業</p> <p>中学校区を指定し、学校、家庭、地域が一体となった取組や、学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に係る研究を実施し、人権教育の一層の推進を図る。</p>	<p>【令和元年度目標】 H28年度に箕蚊屋中学校区が研究指定を受けて積み重ねてきた研究実践に、R年度の東山中学校区の研究実践を取り入れながら研究を進める。</p> <p>【改善方法】 11月の中学校区人権教育研究発表会における授業公開・分科会発表、1月の米子市人権・同和教育研究集会での分科会発表に教職員が参加し研修を深める。</p> <p>【前年度の成果・課題】 H28年度に箕蚊屋中学校区が研究指定を受けて積み重ねた研究実践を継続して進めた。特に、校区各学校の研究組織に共通の3専門部会を置き、共通実践や情報交換等を行いながら共同研究を推進した。</p> <p>【数値目標】 ※全国学力学習状況調査の質問紙調査における「自分には、よいところがあると思いますか」という項目で肯定的な回答の割合が、参考値とほぼ同値または上回る。 H30年度 [中学校] 全国：74.1%</p>	<p>【取組状況】 東山中学校区の研究発表会に教職員が参加し、特色ある研究発表を聞くことで研修を深めた。</p> <p>【成果】 全国学力学習状況調査の質問紙調査の「自分には、よいところがあると思いますか」という項目で肯定的な回答の割合が、全国平均を上回った。</p> <p>【課題】 基本的な生活習慣の乱れが様々な面に影響を与え、自尊感情の低下を招いていると思われる事例も散見される。家庭への啓発や協力要請をいかに行うかも課題である。</p> <p>【数値目標の実績値】 R元年度：全国平均値を上回った。</p>	<p>◎</p>

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子ども育成	スクールソーシャルワーカー活用事業	<p>【令和元年度目標】</p> <p>生徒に対し、福祉的な視点で多様な支援を行うため、SSWが各機関のハブ役として対応することで、問題行動等の未然防止について支援を行う。</p> <p>【改善方法】</p> <p>学校での定例会等において情報共有を行うとともに、関係機関との連携を強化する。また、多様なケースに対応できるようスーパーバイザーと連携していく。</p>	<p>【取組状況】</p> <p>学校等からの相談依頼や、定例会においての情報共有や情報収集を行い、多様なケースについて継続的に対応してきた。</p> <p>また、定期的にスーパーバイザーと協議することで、支援の見立てやワーカーとしてのかかわりについての助言をもとに困難なケースの支援を行ってきた。</p> <p>【成果】</p> <p>相談ケースについて福祉的視点で連携を進める中で、アセスメントに基づいた的確な支援を行うことができた。</p> <p>従来の間接的支援だけでなく、直接的支援による対応ケースも増えたことにより、スクールソーシャルワーカーが現認確認をしたり、継続的な支援を行ったりすることで、早期支援につながった。</p>	◎
③生徒指導の充実	問題を抱えた生徒に対し、福祉的な視点で多様な支援を行うために、スクールソーシャルワーカー(SSW)を継続的に配置する。	<p>【前年度の成果・課題】</p> <p>学校からの相談が多岐にわたり、学校からのケースワーク等の要望も増えた。また、児童相談所、警察、医療機関等との連携がスムーズになった。</p>	<p>【課題】</p> <p>アセスメントの遅れが課題となっている。予防的な取組としての対応ができていない事案や、不登校のケース等については、対応について試行錯誤したり、支援を修正したりする必要があることから時間がかかってしまう事案もある。</p>	
		<p>【数値目標】</p> <p>○定例会またはケース会議を実施する</p> <p>○支援の対象となった生徒数が前年数以上</p> <p>【前年度の実績値】</p> <p>支援の対象となった生徒数</p> <p>※SSWの配置数 H30年度 SSW 3名 (スーパーバイザー 2名)</p>	<p>【数値目標の実績】</p> <p>○定例会またはケース会議を実施した。</p> <p>(定例会4回 ケース会議2回)</p> <p>○支援の対象となった生徒数は前年度のほぼ同数であった。</p> <p>※SSWの配置数 R元年度 SSW 3名 (スーパーバイザー 2名)</p>	

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
1-1 ③生徒指導の充実	いじめ・不登校対応 小中連携、小小連携を基盤として、不登校の児童生徒数の減少に努める。また、「米子市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期解決ができるように各学校での教職員の意識向上を図り、指導を行う。	<p>【令和元年度目標】 中学校区での安心・安全な学校づくりの取組をさらに充実し、よりよい生活環境を自らの手で築き上げようとする心情を育み、いじめ防止、早期発見、早期解決、不登校の減少につなげていく。</p> <p>【改善方法】 自治の取組のより一層の充実と併せ、スクールソーシャルワーカーの活用やフレンドリールームの充実により、多様化する生徒、保護者に対応していく。</p>	<p>【取組状況】 小小連携や小中連携の推進を図るため、「安心・安全な学校づくり」に向けた取組を中学校区で取り組んだ。 不登校をはじめとする問題行動等の対応として、フレンドリールームやスクールソーシャルワーカーの活用により、状況の改善を図った。</p> <p>【成果】 小学校と中学校の教員交流が進んだこともあり、小学校においても自治の取組が浸透し、「全ての児童生徒が安心・安全に生活できる学校をつくろう」という風土が醸成され、委員会活動を中心に、児童生徒が主体となった活動が展開された。</p>	◎
		<p>【課題】 中学校区における小学校不登校児童数はわずかではあるが増加しており、今後、中学校生活への影響も懸念される。アセスメントを行いながら状況の改善を図っていく必要があると考える。</p>		
		<p>【数値目標】 ※参考値を下回る。 (参考値) ○不登校生徒数の割合(全国) H30年度 中学校 3.65%</p>	<p>【数値目標の実績】 ○令和元年度の不登校生徒数の割合は全国割合よりも下回っている。</p>	

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子ども育成	不登校・いじめ対策事業(フレンドリールーム事業)	【令和元年度目標】 学習の習慣化とコミュニケーション力の育成に取り組み、不登校生徒の学校復帰につなげる。	【取組状況】 2名の非常勤職員を配置し、在籍校と適時連携を図りながら、学校復帰をめざす生徒に対して学習支援を行うなど、指導員とかかわりながらコミュニケーション力を高める活動を実施した。	
③生徒指導の充実	適応指導教室を設置し、不登校生徒を受け入れ、学習支援を行う。	【改善方法】 2名の非常勤職員を配置し、在籍校との連携を図りながら、学校復帰をめざす生徒の支援を行う。	【成果】 入級後、フレンドリールームへ通うことで生活リズムが改善し、学習や活動に参加することができるようになった。 また、学習への支援により、希望する進路先へ進むことができた。	○
		【前年度の成果・課題】 学校復帰にチャレンジした生徒、学校復帰に至っていないが生活習慣が整った生徒があった。また、中学校卒業後、高校へ進学した。	【課題】 3月の学校復帰に向けた登校チャレンジ期間の設定だけでなく、学校復帰に向けたプログラムについて検討していく必要がある。	
		【数値目標】 年度末までには、新年度に向けて、全員が学校復帰または学校復帰に向けて登校チャレンジを行う。	【数値目標の実績値】 ※年間学校復帰人数 0名 学校復帰はかなわなかったが、卒業後、希望する高校へ進学できた。なお、例年3月に実施している学校復帰に向けた登校チャレンジは、新型コロナウイルス感染症による臨時休業と重なったため、令和元年度は実施できなかった。	

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
I-I 豊かな人間性と創造力を持った子ども育成	米子市小中一貫教育推進事業	【令和元年度目標】 児童生徒が将来、自立した社会人として積極的に社会参加できるよう、自分を見つめ、自分の適性に理解を深めたり、働くことの大切さや人の役に立つことの喜びを実感したりする系統的な学習活動の充実を図る。	【取組状況】 キャリア教育を計画通り実施した。 また、小中サミットや校区の児童生徒の交流等を通して、リーダーの育成と生徒の主体性の育成を図った。 さらに、「ふるさと教育」と「キャリア教育」を関連させ、米子市における「ふるさとキャリア教育」として方針を作成し、周知を図った。	
④キャリア教育の充実	<p>義務教育の9年間の学びを連続したものととらえ、各中学校区で「めざす子ども像」を共有し、内容を系統化したり、指導を継続化したりすることによって、学校教育における課題を解決し、確かな学力の定着や豊かな人間性と創造力の育成を図る。</p> <p>各校区の最新の年間構造図を作成するとともに、取組の実践事例集を作成し、各校区の情報を全市で共有する。また、児童生徒の自主的・自発的な取組の一環として、本市すべての小中学校が合同で「楽しく安心な学校づくりサミット」開催する。</p> <p>各中学校区の推進協議会に担当指導主事が参加し、推進状況の把握と取組への助言を行う。</p>	<p>【数値目標】 ※全国学力学習状況調査質問紙調査における「将来の夢や目標を持っていますか」という項目で肯定的な回答が参考値とほぼ同値または上回る。</p> <p>【前年度実績値】 ＜参考値＞米子市 H30年度：70.8% R元年度：67.2%</p>	<p>【成果】 教職員を対象とした「ふるさとキャリア教育連絡協議会」の中で、小中の学びをつなぎながら進めていく小中一貫した「ふるさとキャリア教育」の計画を立てることができ、キャリア教育への関心が高まった。また、小中の児童生徒の交流が継続的に行われることで、小学校での経験が、中学校生活においても生かされ、生徒会等で活躍するなどの場面が増え、自分の将来に目標を持つ生徒の割合が増えた。</p> <p>【課題】 現在の生活の充実が自身の将来の展望につながることを踏まえ、「ふるさとキャリア教育」のより一層の推進を行い、改善を図る必要がある。</p> <p>【数値目標の実績値】 ※全国学力学習状況調査質問紙において、将来の夢や目標を持っていると回答した生徒の割合が参考値を上回った。</p>	◎

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子ども育成	米子市小中一貫教育推進事業	【令和元年度目標】 環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境問題を自分と関係づけながら持続可能な社会の実現を目指し、よりよい環境づくりのために配慮した行動をとることができる実践力を育成する。	【取組状況】 主にゴミの分別や削減に取り組む、環境保全に努めた。	
⑤環境教育の充実	義務教育の9年間の学びを連続したものにとらえ、各中学校区で「めざす子ども像」を共有し、内容を系統化したり、指導を継続化したりすることによって、学校教育における課題を解決し、確かな学力の定着や豊かな人間性と創造力の育成を図る。 各校区の最新の年間構造図を作成するとともに、取組の実践事例集を作成し、各校区の情報を全市で共有する。また、児童生徒の自主的・自発的な取組の一環として、本市すべての小中学校が合同で「楽しく安心な学校づくりサミット」を開催する。 各中学校区の推進協議会に担当指導主事が参加し、推進状況の把握と取組への助言を行う。	【前年度の成果・課題】 主に美化委員会を通じた児童生徒の自主的・自発的な取組が多くを占め、よりよい環境を作ろうとする主体的な行動が充実した。	【成果】 美化委員会の呼びかけやポスターでの啓発中心にして、全校生徒がゴミの分別・削減等を自主的に行っていた。	
		【数値目標】 学校でリサイクル活動などの環境保全に係る取組を行う。 H30年度 100%	【課題】 委員会活動を中心とした取組は、マンネリ化しないようにPDCAサイクルを意識しながら目的意識を持って取組を進めていく必要がある。	◎
			【数値目標の実績】 リサイクル活動は行わなかったが、校内でゴミの分別や削減についての取組を行った。 R元年度 100%	

令和 2 年度実施

令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 学校教育課 指導担当

基本施策	番号	2-1			
	項目名	確かな学力を身につけた子どもの育成			
	概要	<p>「生きる力」を育むためには、知識・技能や思考力・判断力・表現力、学習意欲などの確かな学力の育成が必要である。米子市の子どもは、習得した知識を活用する力を伸ばすことや計画的な家庭学習の定着などに課題がある。</p> <p>そこで、今後は、全教育活動を通して育む学力形成、子ども一人一人に応じたきめ細かな指導、小中学校で連携した教育、家庭との連携などに取り組む。</p>			
所 管	学校教育課 指導担当				
主な取組※ (事務事業名)	番号※	事務事業名※		個別事業評価※	
	①	学力の向上を図る学びの充実		○	
	②	特別支援教育の充実		◎	
	③	外国語活動・英語教育の充実		◎	
	④	図書館教育の充実		◎	
	⑤	情報教育の充実		◎	
取組状況の総括	<p>【成果】 英語教育について、ALT を活用した授業を全学級で行うなど、指導体制の充実を図ることができた。図書館教育の充実を図り、家庭での読書時間の増加につながった。</p> <p>【課題】 全国学力調査において、国語が全国平均正答率を上回ったものの、数学・英語が下回る結果となった。</p> <p>【改善策】 授業改善を目的とした「授業力向上講座」の内容を見直すとともに、家庭での学習習慣の定着率が低い実態があることから、家庭学習の習慣化を図る取組を、学校と連携しながら推進していく。</p>				
基本施策評価※ (総合評価)	S	Ⓐ	B	C	D
評価理由※	学力調査の結果に一部課題が残るものの、全体的な数値目標の達成状況と、内容的な成果を踏まえ、この評価とした。				
教育委員の 意見・指摘	学力向上については、理解度に合わせた指導で全体の底上げにつなげるように行うこと。				

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価	
主な取組	概要(目的)	改善方法と数値目標			
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	全国学力・学習状況調査	<p>【令和元年度目標】 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題の解決に向けて指導方法の工夫改善を図る。</p>	<p>【取組状況】 授業改善を目的とした「授業力向上講座」を実施するとともに、学校計画訪問において、授業改善の視点で指導助言を行った。全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題解決に向け、指導方法などの工夫改善を図った。</p> <p>【成果】 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、「学校の授業時間以外に平日1時間以上学習している児童生徒の割合」が参考値を上回った。 「各調査教科の学力」について、国語は、全国平均正答率とほぼ同値であった。</p>		
①学力の向上を図る学びの充実	米子市すべての小学校6年生、中学校3年生に対して調査を実施し、その結果を分析することにより課題解消に向けての取組を行う。	<p>【改善方法】 授業改善を目的とした「授業力向上講座」を実施するとともに、学校計画訪問において、授業改善の視点で指導助言を行う。</p>			<p>【課題】 全国学力・学習状況調査において、数学と英語が全国平均正答率を下回っていた。</p>
		<p>【前年度の成果・課題】 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、「学校の授業時間以外に平日1時間以上学習している生徒の割合」が参考値を下回った。 「各調査教科A・Bの学力」について、数学Bを除き、平均値を上回るまたはほぼ同値の結果となった。</p>			<p>【数値目標の実績】 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、「学校の授業時間以外に平日1時間以上学習している生徒の割合」は参考値を上回った。</p> <p>H31年度全国学力・学習状況調査各教科の正答率 (組合及び全国値の状況) 国語 上回った。 全国72.8% 数学 下回った。 全国59.8% 英語 下回った。 全国56.0% (H31年度から英語が追加された)</p> <p>※各調査結果とも、H31年度から「A知識」「B活用」を一体的に問う問題形式に変更になった。</p>
<p>【数値目標】 ※全国学力・学習状況調査において、「各調査教科A・Bの学力」参考値とほぼ同値または上回る。 <参考値> (令和元年度全国平均値) 【前年度の実績値】 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、「学校の授業時間以外に平日1時間以上学習している生徒」の割合。 62.9% H30年度全国学力・学習状況調査各教科の正答率 (全国値の状況) 国語A 全国76.1% 国語B 全国61.2% 数学A 全国66.1% 数学B 全国46.9%</p>					

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要(目的)	改善方法と数値目標		
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	少人数学級実施事	【令和元年度目標】 少人数学級を実施する中で、一人一人に応じたきめ細かな指導を推進する。	<p>【取組状況】 少人数学級を実施する中で、一人一人に応じたきめ細かな指導を推進した。</p> <p>【成果】 鳥取県学級編制基準を充たす人数の教職員を配置できたことで、個に応じたきめ細かな学習指導や仲間づくりができた。主な成果指標としては、Q-Uアンケートや学校独自のアンケートにおいて、肯定的な回答をする生徒が多かった。</p> <p>(具体例) ・二学期と三学期に実施したQ-Uのアンケート結果では、学級生活満足群に位置する生徒が全国平均(39%)を大幅に上回った。 ・同じくQ-Uのアンケート結果で、学校生活不満足群に位置する生徒が全国平均(31%)を大きく下回った。 ・少人数指導に係る学校独自のアンケートにおいて肯定的な回答が多かった。 (例) 数学の授業内容がよくわかる。</p>	◎
①学力の向上を図る学びの充実	中学校1年生3 3人学級、中学校2・3年生3 5人学級を実施し、一人一人に応じたきめ細かな指導の充実を図る。	<p>【数値目標】 ※鳥取県学級編制基準を充たす人数の教職員の配置</p> <p><参考値> H30年度は鳥取県学級編制基準に該当する学級が無く、配置していない。</p>	<p>【数値目標の実績】 R元年度実配置数 2人</p>	

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価	
主な取組	概要(目的)	改善方法と数値目標			
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	ここにこサポート支援事業	<p>【令和元年度目標】</p> <p>学校や生徒の状況を把握し、学校支援員を学校に1名配置する。</p> <p>「まなびの支援ガイドブック」を増刷・配布し、支援の充実を図る。</p>	<p>【成果】</p> <p>通常学級に在籍する発達障がいの可能性のある生徒をはじめとする支援の必要な生徒に対して、学級担任の指示を受けて支援や援助などを実施することで、個のニーズに応じた手立てを講じ、学力向上に貢献した。</p>		
②特別支援教育の充実	<p>学校や生徒の状況を把握し、学校支援員を各学校1名ずつ配置する。</p> <p>学校支援員の研修会を実施し、支援の充実を図る。</p>	<p>【前年度の成果・課題】</p> <p>全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、「学校の授業時間以外に平日1時間以上学習している児童生徒の割合」が参考値を上回った。</p>			<p>【課題】</p> <p>学校及び各支援員からはさらなる研修の充実、支援員同士での情報交換等を求める声があった。研修の内容、回数等もより充実したものにしていきたい。</p>
		<p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校支援員配置数1名 まなびの支援ガイドブックを配布 			<p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度中途に学校支援員を1名配置 まなびの支援ガイドブックを12冊配布

◎

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	英語指導助手活用事業	<p>【令和元年度目標】 生徒の外国語に係る資質・能力の育成及び諸外国の多様な生活や文化を理解・尊重のために中学校における外国語(英語)科の指導体制を充実する。</p> <p>【改善方法】 中学校での外国語(英語)科の時間に活用する。また、校区内の米子市立小学校へ同じALTを配置し、外国語(英語)教育における小中連携を充実させる。</p> <p>【前年度の成果・課題】 全学級において英語指導助手(ALT)を活用した授業を行った。</p> <p>【数値目標】 ○全学級におけるALTによる授業の実施 ○指導研修会の開催(年1回)</p> <p>【前年度の実績値】 ※指導研修会 1回</p>	<p>【取組状況】 中学校での外国語(英語)科の時間に活用した。また、校区内の米子市立小学校へ同じALTを配置し、外国語(英語)教育における小中連携を充実させた。</p> <p>【成果】 委託業者によりALTを配置し、質の高い外国語の指導が実現した。</p> <p>【課題】 R2年度から小学校において、新学習指導要領が全面実施され、より一層の小中連携の充実と中学校におけるより専門的な授業が望まれる。</p> <p>【数値目標の実績】 全学級において英語指導助手(ALT)を活用した授業を行った。</p> <p>※指導研修会 1回</p>	



令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	図書館教育の充実事業	<p>【令和元年度目標】 学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」として機能の充実させ、読書活動のみならず、各教科での利活用を図る。</p>	<p>【取組状況】 学校司書を対象とした研修を年間7回、司書教諭を対象とした研修を年間1回実施し、図書館教育の充実を図った。 カリキュラムマネジメントの観点から指導計画を見直した。</p>	
④図書館教育の充実	司書教諭、学校司書、地域ボランティアの連携による読書活動の充実と、学校図書館の活用による学習の充実を図る。	<p>【改善方法】 学校司書を対象とした研修を年間7回、司書教諭を対象とした研修を年間1回実施し、図書館教育の充実を図る。 カリキュラムマネジメントの観点から指導計画を見直す。</p> <p>【前年度の成果・課題】 H30年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査、「学校の授業時間以外に、家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上)」と回答する児童生徒の割合が、前年度を下回る結果となった。 学校図書館の活用や家庭との連携により、生徒の読書活動を推進することができた。</p> <p>【数値目標】 ※全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、「学校の授業時間以外に、家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上)」と回答する児童生徒の割合が前年度数値とほぼ同値または上回る。</p>	<p>【成果】 H31年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査、「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(10分以上)」という問いに対して、前年度を上回る結果となった。</p> <p>【課題】 引き続き、学校図書館の活用や家庭との連携により、生徒の読書活動を推進していくことが課題と言える。</p> <p>【数値目標の実績】 R元年度：前年度を上回った。</p>	◎

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-1 ⑤情報教育充実	情報モラル教育普及事業	<p>【令和元年度目標】 淀江中学校区において作成した9年間を見通したモデルカリキュラムをもとに、各校が情報モラルカリキュラムを作成し活用することで、情報モラル教育の充実を図る。</p>	<p>【取組状況】 9年間を見通した情報モラル教育のモデルカリキュラムをもとに、情報モラル教育の充実を図った。</p> <p>【成果】 教職員や保護者を対象とした研修会を実施し、専門家の話を聞くことを通して情報モラルへの見識を高めることができた。</p>	◎
情報モラル教育普及事業	小中学校における情報モラル教育の推進について情報モラルカリキュラムを見直し・作成し、関係機関と連携して取り組む。	<p>【前年度の成果・課題】 職員や保護者を対象とした研修会等を通じて、情報モラルへの見識を高めることができた。</p>	<p>【課題】 小中で連携しながら、年間指導計画の見直しを進めていく必要がある。また児童生徒が使用する情報端末も多様化し、アプリなどもどんどん新しいものが出てきているので、最新の情報を教員が知る必要がある。</p>	
		<p>【数値目標】 情報モラルカリキュラムを見直し、作成する。</p> <p>【前年度の実績値】 H30年度：情報モラルカリキュラムの見直し及び活用を実施。</p>	<p>【数値目標の実績】 R元年度：情報モラルカリキュラムの見直し及び活用を行った。</p>	

令和 2 年度実施
令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 学校管理担当

基本施策	番 号	2-2			
	項目名	安全で安心な学校施設の改善			
	概 要	<p>老朽化が進行している学校施設の大規模改修を実施し、教育環境の改善と施設の長寿命化を図る。</p> <p>また、地震等の災害発生時に児童生徒の安全を確保するとともに、地域住民の避難所としての役割を果たすため、非構造部材の耐震化に努める。</p>			
所 管	教育総務課 学校管理担当				
主な取組 (事務事業名)	番号*	事務事業名*		個別事業評価*	
	①	学校施設整備（改修）事業		◎	
取組状況の総括	<p>【成果】 学校施設整備（改修）事業については、計画どおりに進捗を図ることができた。</p> <p>【課題】 管理・普通教室棟は、築30年以上経過し、老朽化が進行していることから、大規模改修等の老朽化対策の推進が必要である。</p> <p>【改善策】 生徒の安全に関わるもの、授業に影響を及ぼすものを最優先とし、対応していく。</p>				
基本施策評価 (総合評価)	◎	A	B	C	D
評価理由 *	外壁改修工事についても大きな問題もなく完了したことから、この評価とした。				
教育委員の意見・指摘	老朽化により改修、修繕が必要となる箇所が増えている、学校の環境整備も含め、引き続き学校施設の改善に取り組むこと。				

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業)
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-2 安全で安心な学校施設の改善 ①学校施設整備(改修)事業	学校施設整備(改修)事業 児童生徒の安全に関わるもの、授業などに影響を及ぼすもの、及び施設を維持する上で必要なもの等の整備(改修・増築)を行う。	【令和元年度目標】 ・管理・普通教室棟外壁改修 【改善方法】 生徒の安全に関わるもの、授業に影響を及ぼすものを最優先とし、対応していく。	【取組状況】 生徒の安全に関わるもの、授業に影響を及ぼすものを最優先とし、対応した。 【成果】 生徒の安全に関わるもの、授業などに影響を及ぼすものを優先に対応するとともに、 ・管理・普通教室棟外壁改修を計画通り実施した。	◎
	【前年度の成果・課題】 生徒の安全に関わるもの、授業などに影響を及ぼすものを優先に対応するとともに、 ・屋内運動場下屋改修を計画通り実施した。	【課題】 管理・普通教室棟は、築30年以上経過し、老朽化が進行していることから、大規模改修等の老朽化対策の推進が必要である。		
	【数値目標】 実施率100% 【前年度の実績値】 実施率100%	【数値目標の実績値】 実施率100%		

令和 2 年度実施
令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 学校管理担当

基本施策	番号	2-3		
	項目名	環境に配慮した学校教育環境整備の推進		
	概要	学校施設の維持管理に必要な管理・修繕工事の実施にあわせて、教育環境の充実や施設のバリアフリー化と老朽化した施設の長寿命化に際して、環境に配慮した学校施設整備を計画的に推進する。		
所管	教育総務課 学校管理担当			
主な取組※ (事務事業名)	番号※	事務事業名※		個別事業評価※
	①	学校施設維持管理事業		◎
取組状況の総括	<p>【成果】</p> <p>普通教室等空調設備整備について、令和 2 年 3 月末までに全ての普通教室に空調設備を設置することができた。</p> <p>【改善策】</p> <p>学校施設の改修等の際には、地球温暖化等の環境問題に対応するため、引き続き環境に配慮した部材等の使用を積極的に進めていく。</p>			
基本施策評価※ (総合評価)	<p>◎ A B C D</p>			
評価理由※	<p>普通教室等空調設備整備について、全国的な課題であった機器の調達の手配等もでき、また、受注業者及び学校の全面的な協力のもと、困難であると思われた令和 2 年 3 月末までに全ての普通教室に空調設備を設置することができたことから、この評価とした。</p>			
教育委員の 意見・指摘	<p>普通教室エアコン設置については、機器調達等の課題もあったが関連部署と施工業者の努力により、短期間で十分要求を満たすものに完成した。</p>			

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業)
 米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-3 環境に配慮した学校教育環境整備の推進	学校施設維持管理事業	<p>【令和元年度目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通教室等空調設備整備 生徒の学習環境改善を目的として、空調設備未設置の普通教室に空調設備設置工事を実施する。 省エネタイプの採用。 	<p>【取組状況】</p> <p>学校施設の改修等の際には、地球温暖化等の環境問題に対応するため、引き続き環境に配慮した部材等の使用を積極的に進めた。</p>	◎
①学校施設維持管理事業	学校施設の維持管理に必要な改修工事等の実施にあたり、環境負荷の軽減につながる部材等の採用に努める。	<p>【改善方法】</p> <p>学校施設の改修等の際には、地球温暖化等の環境問題に対応するため、引き続き環境に配慮した部材等の使用を積極的に進める。</p>	<p>【成果】</p> <p>地球温暖化等の環境問題に対応するため、環境に配慮した部材等の使用を積極的に進め、計画通りに実施した。</p>	
		<p>【前年度の成果・課題】</p> <p>該当事業なし。</p>	<p>【課題】</p> <p>施設の維持管理については、老朽化により改修、修繕が必要となる箇所が増えている現状がある。</p>	
		<p>【数値目標】</p> <p>実施率100%</p> <p>【前年度の実績値】</p> <p>実施率100%</p>	<p>【数値目標の実績値】</p> <p>実施率100%</p>	

令和 2 年度実施
令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 学校管理担当

基本施策	番号	2-4			
	項目名	学校のICT環境の整備			
	概要	ICT機器の利用が児童生徒の学習への興味関心を高め、教え合い学び合う協働学習にも有効と考えられることから、段階的にインフラ、ICT機器の整備を行い、併せて学校業務支援システムの導入と活用により、教育の情報化の推進を図る。			
所 管	教育総務課 学校管理担当				
主な取組※ (事務事業名)	番号※	事務事業名※		個別事業評価※	
	①	ICT機器整備事業		◎	
取組状況の総括	<p>【成果】 小中学校の代表者によるICT機器等を選定する委員会を開催し、意見集約した。</p> <p>【課題】 学校により活用状況等が異なるため、最適なICT機器等の配備については、十分な検討が必要である。</p> <p>【改善策】 小中学校の代表者によるICT機器等を選定する委員会の意見も聴取しながら、より効果的な機器等の配備について検討を行う。</p>				
基本施策評価※ (総合評価)	S	Ⓐ	B	C	D
評価理由※	ICT機器等の選定委員会の開催により、学校のICT機器活用の現状や、実際に学校が求めている環境等について確認したが、最適なICT機器等の配備を行うためには、生徒1人1台端末整備、ネットワーク環境整備等、様々な課題に取り組む必要があることから、この評価とした。				
教育委員の 意見・指摘	OSのセキュリティー対策や端末使用時のフィルタリングに配慮すること。				

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業)
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価	
主な取組	概要	改善方法と数値目標			
2-4 学校のICT環境の整備	学校施設維持管理事業	<p>【令和元年度目標】 文部科学省の提示するICT機器の整備指針等など、国の動向を見据えながら、引き続き、ICT機器活用の現状や学校が求める環境等について、小中学校の代表者から意見聴取し、より効果的な教育用パソコン等の機器等を整備するための検討を行う。</p> <p>【改善方法】 文部科学省の動き等、情報の収集を行いながら、小中学校の代表者への情報提供・意見集約の場を設け、より効果的な整備計画の検証を進める。</p>	<p>【取組状況】 文部科学省の動き等、情報の収集を行いながら、小中学校の代表者への情報提供・意見集約の場を設け、より効果的な整備計画の検証を進めた。</p> <p>【成果】 学校のICT機器活用の現状や、実際に学校が求めている環境等について、確認することができた。</p>		
① ICT機器整備事業	<p>・教育用パソコン等の再整備 老朽化の進む、主にパソコン教室内に整備されている、教育用パソコン等の機器の更新に合わせて、タブレット端末等の整備、無線LAN機器の増強を進める。</p>	<p>【成果・課題】 ICT機器活用の現状や学校が求める環境等について、小中学校の代表者に意見聴取し、今後、より効果的な教育用パソコン等の機器等を整備するための検討を行った。</p>			<p>【課題】 最適なICT機器等の配備を行うためには、様々な課題に取り組む必要がある。</p>
		<p>【数値目標】 選定委員会開催回数 6回</p> <p>【前年度の実績値】 選定委員会開催回数 2回</p>			<p>【数値目標の実績値】 選定委員会開催回数 6回</p>



令和 2 年度実施
令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 教育企画室

基本施策	番 号	2 - 5			
	項目名	通学路の安全確保			
	概 要	児童生徒が安全に安心して通学するため、米子市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して危険箇所の安全対策を推進し、通学路の安全確保を図る。			
所 管	教育総務課 教育企画室				
主な取組* (事務事業名)	番号*	事務事業名*		個別事業評価*	
	①	通学路の安全確保に係る連絡協議会と合同点検の実施		◎	
	②	危険箇所における安全対策と効果把握による対策の改善・充実		◎	
取組状況の総括	<p>【成果】 関係機関が連携して現地確認及び対策を検討し、危険箇所の多角的な交通安全対策を図った。また、H30年度に実施した通学路沿いのブロック塀の危険箇所については、2次点検をすべて実施した。</p> <p>【課題】 危険箇所の一部にハード対策が困難な場所もあり、通学路の変更等、ソフト対策も含めて総合的に生徒の安全を確保する必要がある。</p> <p>【改善策】 交通安全をはじめ、通学路の総合的な安全対策を進めることで、生徒のさらなる安全確保策を充実する。</p>				
基本施策評価* (総合評価)	◎	A	B	C	D
評価理由*	交通安全対策の取組は、順調に進捗し、引き続き通学路沿いのブロック塀など防災の観点の危険箇所の対策を推し進めている。				
教育委員の意見・指摘	特段の意見及び指摘事項なし。				

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要(目的)	改善方法と数値目標		
2-5 通学路の安全確保	米子市内通学路の安全確保に係る連絡協議会の開催と合同点検の実施	【令和元年度目標】 連絡協議会の開催	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箕蚊屋中学校と米子市内通学路の安全確保に係る連絡協議会(参加者:学校代表、警察、道路管理者、教育委員会事務局)を年2回開催した。 ・通学路の危険箇所の合同点検を行い、箕蚊屋中学校で報告あった新規危険箇所3箇所を点検した。 ・通学路のブロック塀危険箇所2次点検を行い、箕蚊屋中学校で報告あった6箇所の点検を実施した。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が連携することで多角的な交通安全対策を検討し、学校における生徒の交通安全指導に活用した。 ・危険箇所の現場を確認し、ハード面とソフト面から実施可能な対策を協議し、状況に応じた効果的な対策を行った。 ・ブロック塀の危険箇所を点検し、建築相談課から危険判定C、Dの箇所について次年度指導通知を送付することとなった。 	
①米子市内通学路の安全確保に係る連絡協議会の開催と合同点検の実施	米子市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して合同点検を実施し、安全対策を推進する。	<p>【改善方法】</p> <p>交通安全をはじめ、通学路の総合的な安全対策を進める。</p>		
		<p>【前年度の成果・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会(参加者:学校代表、警察、道路管理者、教育委員会事務局)を年2回開催した。 ・通学路の危険箇所の合同点検で、新規危険箇所2箇所点検した。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が連携することで多角的な交通安全対策を検討し、学校における児童生徒の交通安全指導に活用した。 ・危険箇所の現場を確認し、ハード面とソフト面から実施可能な対策を協議し、状況に応じた効果的な対策を行った。 		
		<p>【数値目標】</p> <p>連絡協議会開催 2回 新規危険箇所点検 100%</p> <p>【前年度の実績値】</p> <p>連絡協議会開催 2回 新規危険箇所点検 100%</p>	<p>【数値目標の実績】</p> <p>連絡協議会開催 2回 新規危険箇所点検 100%</p>	

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-5 通学路の安全確保	危険箇所における安全対策の実施と効果把握による対策の改善・充実	【令和元年度目標】 ・危険箇所における安全対策の実施と効果把握による対策の改善・充実	【取組状況】 3箇所の新規危険箇所です合同点検を実施し、2箇所の対策を実施予定とした。 通学路のブロック塀危険箇所6箇所の2次点検を実施し、次年度は危険度判定CDの所有者に指導通知を送付することとした。	
②危険箇所における安全対策の実施と効果把握による対策の改善・充実	米子市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して合同点検を実施し、安全対策を推進する。	【改善方法】 交通安全をはじめ、通学路の総合的な安全対策を進める。	【成果】 毎年度、合同点検を行うことで、各関係機関が行うハード対策の取り組み箇所が増加した。	
		【前年度の成果・課題】 ・2箇所の新規危険箇所です合同点検を実施し、このうち1箇所がハード対策を実施、1箇所は実施予定となった。	【課題】 実施した対策の効果把握を通し、多角的視点から更なる対策の検討、及び、ブロック塀の改善状況の確認を定期的に行う。	◎
		【数値目標】 新規危険箇所のうち、合同点検を実施した箇所の中でハード対策を予定する箇所の割合 50%以上	【数値目標の実績】 新規危険箇所のうち、合同点検を実施した箇所の中でハード対策を予定する箇所の割合 66%	
		【前年度実績値】 100%		

令和 2 年度実施
令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 教育企画室

基本施策	番号	2-6			
	項目名	学校図書館の充実			
	概要	心豊かな感性を育み、自ら学ぶ力を育む子どもたちの健全育成と学習支援を行う重要な拠点であり、蔵書数の充実に加えて、生徒に朝読書などで、読書への興味を醸成するとともに親しめる図書館づくりに努める。			
所 管	教育総務課 教育企画室				
主な取組※ (事務事業名)	番号※	事務事業名※		個別事業評価※	
	①	学校図書館運営事業		◎	
取組状況の総括	<p>【成果】 国語の授業で本の紹介をするなど新たな取り組みを増やしたことで貸出冊数の増加につながった。 また、子どもたちの健全育成と学習支援を行う拠点とし、夏季休業中の活用方を提案したことで、次年度から学校司書を通年雇用し夏季休業中の学校図書館を開館することとなった。</p> <p>【課題】 夏季休業の前後に本や読書に親しませる活動を重点的に取組み、読書習慣の維持を図る。</p> <p>【改善策】 健全育成と学習支援を行う拠点として、夏季休業中の活用方を各学校に照会した上で、活用方策の指針を示す。</p>				
基本施策評価※ (総合評価)	S	(A)	B	C	D
評価理由※	目標に向けた取り組みが貸出冊数の増加につながったことから、この評価とした。				
教育委員の 意見・指摘	前年度に比べ、貸出冊数が伸びていることは、読書に繋がる取組みによる効果と見られるので、読書習慣の醸成を継続すること。				

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-6 学校図書館の充実	学校図書館運営事業	<p>【令和元年度目標】 話題の図書や推薦図書を提案し、子どもたちを本や読書に親しませることで、生徒1人当たりの年間貸出冊数を増加させる。</p> <p>【改善方法】 子どもたちの健全育成と学習支援を行う重要な拠点とし、夏季休業中の活用方策を提案することで、貸出冊数の増加を図ります。</p>	<p>【取組状況】 子どもたちを本や読書に親しませる活動に取り組みとともに、子どもたちの健全育成と学習支援を行う重要な拠点とし、夏季休業中の活用方策を提案した。</p> <p>【成果】 従来からの取り組みに加えて、国語の授業で本の紹介をするなど新たな取り組みを増やした結果、貸出冊数の増加につながった。 子どもたちの健全育成と学習支援を行う重要な拠点とし、夏季休業中の活用方策を提案し、令和2年度より学校司書を通年雇用とし夏季休業中の図書館を開館することとなった。</p>	◎
①学校図書館運営事業	<p>学校図書館は、心豊かな感性を育み、自ら学ぶ力を育む子どもたちの健全育成と学習支援を行う重要な拠点であり、蔵書数の充実に加えて、生徒に朝読書などで、読書への興味を醸成するとともに親しめる図書館づくりに努める。</p>	<p>【前年度の成果・課題】 蔵書数の充実に努めるとともに、図書にまつわるイベントの開催、図書館だよりの発行など、子どもたちを本や読書に親しませる活動を学校司書と司書教諭が協力して取り組み、生徒1人当たりの年間貸出冊数の増加につながった。</p> <p>【課題】 継続した読書習慣を維持するため、本や読書に親しませる活動を夏季休業の前後にも取組むことで、貸出冊数の増加につなげる。</p>		
		<p>【数値目標】 ○生徒1人当たりの年間貸出冊数 24冊/人</p> <p>【前年度実績値】 ○生徒1人当たりの年間貸出冊数 24冊/人 ・年間貸出冊数 11,811冊 ・生徒数 483人</p>	<p>【数値目標の実績】 ○生徒1人当たりの年間貸出冊数 30冊/人 ・年間貸出冊数 14,006冊 ・生徒数 457人</p>	

令和 2 年度実施

令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 学校教育課 指導担当

基本施策	番号	4-1			
	項目名	健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成			
	概要	<p>子どもを取り巻く生活環境の急激な変化などの要因により、体力・運動能力の低下、二極化傾向、外的要因による健康被害など、体力向上や健康の保持増進に係る問題が喫緊の課題となっている。また、多様化する現代的課題に対して、子どもの安全・安心に対する懸念が広がっている。さらに、命の重みに対する感受性が弱まっていることも指摘されている。</p> <p>こうしたことから、小中学校が連携して、子どもの体力・運動能力の向上、健康で安全な生活、自他の命を大切にする態度や実践力の育成に努める。</p>			
所管	学校教育課 指導担当				
主な取組※ (事務事業名)	番号※	事務事業名※	個別事業評価※		
	①	体力・運動能力の向上を図る取組の充実	○		
	②	健康教育の充実	○		
	③	いのちの教育の充実	◎		
	④	安全教育の充実	◎		
取組状況の総括	<p>【成果】 朝食摂取に一部課題が残るものの、睡眠時間の確保などの生活習慣は数値目標を達成しており、良好な状況である。専門機関と連携を図りながら、いのちの教育や安全教育の充実を図っている。</p> <p>【課題】 鳥取県体力・運動能力調査の総合判定結果において、男子が県平均値を下回った。女子についても、平均値を下回る種目があり、体力・運動能力向上に課題が残る。</p> <p>【改善策】 体力向上について、種目ごとの詳細な分析をもとにした重点的な取組を進める必要がある。</p>				
基本施策評価※ (総合評価)	S	(A)	B	C	D
評価理由※	体力・運動能力向上の課題が残るものの、運動習慣や生活習慣の数値目標は概ね達成できており、この評価とした。				
教育委員の 意見・指摘	特段の意見及び指摘事項なし。				

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要(目的)	改善方法と数値目標		
4-1 健康でたくましく、命を大切にしている子どもの育成	鳥取県体力・運動能力調査	【令和元年度目標】 鳥取県体力・運動能力調査結果(小中全学年対象)の総合判定において、A～Eの5段階のうち、A～Cの割合の向上を目指す。	【取組状況】 体力向上推進計画をもとに、実態に応じて工夫して取り組んだ。特に、運動量の確保、柔軟性の向上を図った。体育の授業だけでなく、休憩時間や課外体育、部活動等、運動の場面を積極的に設定した。 【成果】 長座体前屈、20mシャトルランの数値が全国平均値を上回り、柔軟性、持久力の向上が図られた。 「体育の授業は楽しいですか」の質問に対し「楽しい」と回答する生徒の割合も全国平均を上回っており、運動に対する意欲向上が図られた。	○
①体力・運動能力の向上を図る取組の充実	発達段階に応じた適切な運動を行ったり運動能力を高めたりするため、指導方法の工夫改善を図り、児童生徒の体力・運動能力の向上に努める。また、運動の楽しさや喜びを実感させることにより、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現に向けた意欲と実践力の育成に努める。	【数値目標】 ※「参考値とほぼ同値または上回る」	【課題】 昨年度より一部向上が見られるものの、全国平均に対し下回っている種目があり、体力・運動能力の向上に向けて、環境の整備や場面の設定、体育の授業の工夫等をより一層進める必要がある。 【数値目標の実績】 ※R元年度鳥取県体力・運動能力調査におけるA～Cの割合 [中学校男子]: 下回った。 [中学校女子]: 上回った。	

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
4-1 健康でたくましく、命を大切に育てる子どもの育成	全国体力・運動能力・運動習慣等調査	【令和元年度目標】 全国体力・運動能力・運動習慣等調査(小学校5年生・中学校2年生対象)の児童生徒質問紙調査における「朝食を毎日食べる」と答える児童生徒の増加を目指す。	【取組状況】 各調査から見える課題を各学校へ周知し、中学校区・PTAとも連携した取組の中で改善を図った。特に、小中一貫教育において、健康教育の視点からも、児童生徒の自主的自発的な取組を行い、教員間の連携をより一層深めた。また、各機関と連携した児童生徒への授業・講演会等を積極的に取り入れ、児童生徒の健康安全・自他の命を大切にしていこう意識の向上をさらに図っていった。	
②健康教育の充実	児童生徒の健康の保持増進を図るため、健康に関する保健指導を行うとともに、定期健康診断を実施し、疾病の防止や早期発見に努めます。また、保健の学習を中心に基本的な生活習慣の定着に努める。	【数値目標】 ※「全国平均値を上回る」 <参考値> R元年度全国平均値 [中学校男子]: 81.6%、 [中学校女子]: 78.2%	【成果】 基本的な生活習慣の定着を推進し、「朝食を毎日とること」「睡眠時間をとること」について、肯定的な回答の割合が昨年度より増加した。 【課題】 昨年度より一部向上が見られるものの、全国平均に対し下回っている種目があり、体力・運動能力の向上に向けて、環境の整備や場面の設定、体育の授業の工夫等をより一層進める必要がある。	
		【数値目標】 ※「1日の睡眠時間」が8時間以上と答える児童生徒の増加を目指す。 <参考値> R元年度全国平均値 [中学校男子]: 29.2%、 [中学校女子]: 23.1%	【数値目標の実績】 ※「朝食を毎日食べる」と答える児童生徒の割合「全国平均値を上回る」 R元年度 [中学校男子]: 下回った。 [中学校女子]: 上回った。 【数値目標の実績】 ※「1日の睡眠時間」が8時間以上と答える児童生徒の割合「全国平均値を上回る」 R元年度 [中学校男子]: 上回った。 [中学校女子]: 上回った。	

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
4-1 健康でたくましく、命を大切に子どもを育成	学校教育実施状況調査における「非行・喫煙・飲酒・薬物乱用防止関連」の調査	【令和元年度目標】 ①「非行・喫煙・飲酒・薬物乱用防止」関連の授業において、専門機関との連携をとりながら指導の充実を図る。 ②自他の生命を尊重する授業において、専門機関と連携をとりながら指導の充実を図る。	【取組状況】 子どもを取り巻く環境が複雑になり、非行防止教室や講演会などを実施し、学校と警察、医療、福祉関係などの専門機関との連携を進めた。あわせて、道徳や学級活動、人権教育、小中一貫教育における自治の取組といったあらゆる機会をとらえ、多様性を受容し、自他を大切に教育を推進した。近年は、年代にあった学習を探求するなど、より充実した教育のための取組を行っている。 【成果】 専門機関と連携し、より専門的な話や、体験に基づいた説得力のある話を生徒が聞くことで、自他の生命を大切にしようとする態度の育成が図られた。	◎
③いの中の教育の充実	心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となる喫煙、飲酒、薬物乱用やメディア依存などに関する理解を深めるとともに、健康を害する状況に陥らないようにするための思考力・判断力の育成に努める。また、人間の誕生の喜びや生きることの尊さを知り、自他の生命を尊重しようとする態度や実践力の育成に努める。		【課題】 生徒の実態や課題、社会の変化にそった指導や連携を継続して進めていく必要がある。	
		①【数値目標】 ※年に1回以上は、専門機関を講師として招聘した授業を実施する。 ②【数値目標】 ※年1回以上は専門機関を講師として招聘した授業を実施する。	【数値目標の実績】 警察関係者を講師として招聘し、薬物乱用防止等の授業を行った。 【数値目標の実績】 保健師や助産師を講師として招聘し、性教育をとおした命の教育に係る授業を行った。	

令和2年度実施 令和元年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和元年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
4-1 健康でたくましく、命を大切に子どもを育成	学校教育実施状況調査における、「応急手当・心肺蘇生関連、交通安全関連、防犯関連」の調査	【令和元年度目標】 「応急手当・心肺蘇生関連、交通安全関連、防犯」関連の授業において、専門機関との連携をとりながら指導の充実を図る。	【取組状況】 主に保健体育や総合的な学習の時間において、外部講師を招聘した授業を行った。 【成果】 応急手当や心肺蘇生関連の学習において、消防署員を講師として招聘して人工呼吸やAEDの使用法について学んだ。実際に人形を使った人工呼吸やAEDの操作といった実技を通して実践力が身についた。 また、防犯関連の学習においては、警察を講師に招聘し、特にネットトラブルについて実際に起こった事案を取り扱いながら、トラブルに巻き込まれないために気をつけることなどを学んだ。 生徒は、具体的な対応を経験することで安全に対する意識が高まった。	
④安全教育の充実	身の回りの生活における危険から身を守るために、各々の要因の理解、予測する力の育成、状況に応じた適切な対策をとるなどの実践力の育成に努める。また、自然災害・人的災害などへの備えや、災害発生時及び発生後に周囲の状況に応じて安全に行動することなど、防災教育を通して災害から身を守る態度や実践力の育成に努める。	【数値目標】 ※年に1回以上は専門機関を講師として招聘した授業を実施する。	【課題】 全体的に学校と関係機関の連携は進んできているが、現状では連携する分野が限られている。今後は安全教育に限らず、防災教育や性教育といった分野においても機関連携を進め、生徒への指導充実を図りたい。	◎
			【数値目標の実績】 消防署員や警察関係者を講師として招聘し、応急手当や心肺蘇生関連、防犯関連の授業を行った。	

10 学識経験者の知見

点検・評価の客観性を高めるため、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用することとしており、令和2年8月12日に、次の方々から点検・評価に関する意見聴取を行いました。

小谷 幸久 氏（社会教育委員、米子市文化協議会会長）

高橋 喜美子 氏（就將公民館運営審議会委員、元小・中学校PTA会長）

田口 立身 氏（元米子市教育委員長）

学識経験者による主なご意見・ご指摘については、次のとおりです。

番号 基本施策	学識経験者の意見・指摘
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	<ul style="list-style-type: none">・主な取組①心の教育の充実において、リーダー研修会の実施回数が目標に届いていないので、しっかりと取り組める様に工夫が必要である。・スクールソーシャルワーカーの存在は重要であるので、増員を含めた支援を検討してほしい。・不登校児童生徒数について、高学年になるほど増加していることについてしっかり分析し、改善を図ってほしい。
2-5 通学路の安全確保	地域の事は公民館長が一番よく知っているので連絡協議会のメンバーに加えることも検討できる。

米子市教育振興基本計画体系図

基本目標	目指す子ども・成人の姿	基本施策	主な取組
<p>1 心を育む学びのあるまち</p> <p>心の豊かさを持つとともに生きがいがある、ふれる豊かな人生を送れるよう、人と人との関わり合いの中で、互いに認め合いながら心の交流を図ることのできる学びの機会の提供に努めます。</p>	<p>目指す子ども・成人の姿</p> <p>○ 互いの違いを認め合いながら、自他の命の大切さを自覚できます。</p> <p>○ あいさつ、感謝など自分の気持ちの表現ができるとともに、課題解決のための行動がとれます。</p> <p>○ 自他の命の大切さを意識しながら、他人を思いやる心と態度が備わっています。</p> <p>○ 自ら率先してあいさつを交わし、社会のきまりやモラルが守れるまちづくりを目指します。</p>	<p>基本施策</p> <p>1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成 学校教育課</p> <p>1-2 青少年の健全育成 生涯学習課</p> <p>1-3 青少年団体の育成支援 生涯学習課</p> <p>1-4 青少年の非行防止 生涯学習課</p>	<p>主な取組</p> <p>①心の教育の充実 ②人権教育の充実 ③生徒指導の充実 ④キャリア教育の充実 ⑤環境教育の充実</p> <p>①児童文化センター運営事業 ②小中学生国際交流事業 ③新リーダー育成事業 ④成人式の企画・開催 ⑤青少年団体活動支援事業</p> <p>①少年育成センター運営事業</p>
<p>2 学ぶ楽しさのあるまち</p> <p>学んだことをいかしながら創造力と実践力が育まれるよう、どの世代においても様々な体験を通して発見や豊かな学びが獲得できる場の提供に努めます。</p>	<p>目指す子ども・成人の姿</p> <p>○ 学ぶ楽しさを知り、自ら進んで学ぼうとする姿勢があります。</p> <p>○ 学んだことを生活や行動にいかそうという意識を持っています。</p> <p>○ 学習の基礎・基本がしっかりと身につけています。</p>	<p>基本施策</p> <p>2-1 豊かな学力を身につけた子どもの育成 学校教育課</p> <p>2-2 安全で安心な学校施設の改善 教育総務課</p> <p>2-3 環境に配慮した学校教育環境整備の推進 教育総務課</p> <p>2-4 学校のICT環境の整備 教育総務課</p> <p>2-5 通学路の安全確保 教育総務課</p> <p>2-6 学校図書館の充実 教育総務課</p> <p>2-7 子ども地域活動の支援 生涯学習課</p> <p>2-8 子ども読書活動の推進 市立図書館</p> <p>2-9 子ども芸術文化とのふれあい推進 文化振興課</p> <p>2-10 子どものための文化財の活用 文化振興課</p> <p>2-11 公民館運営の充実 生涯学習課</p> <p>2-12 公民館の整備 生涯学習課</p> <p>2-13 生活に役立つ図書等の充実 市立図書館</p> <p>2-14 市民文化の振興 文化振興課</p> <p>2-15 文化財を学ぶ環境づくり 文化振興課</p>	<p>主な取組</p> <p>①学力の向上を図る学びの充実 ②特別支援教育の充実 ③外国語活動・英語教育の充実 ④図書館教育の充実 ⑤情報教育の充実</p> <p>①学校施設大規模改修・非構造部材の耐震化 ②学校施設整備(改修)事業</p> <p>①学校施設維持管理事業 ②学校施設のバリアフリー化事業 ③下水・農業業溶排水接続事業 ④ICT機器整備事業</p> <p>①米子市内通学路の安全確保に係る連絡協議会の開催と合同点検の実施 ②危険箇所における安全対策の実施と対策効果の効果把握と対策の充実</p> <p>①学校図書館運営事業 ①公民館運営事業-子ども地域活動の支援 ①ブックスタート支援とおはなし会の実施 ②学校図書館の支援と連携の充実 ③子ども読書活動推進事業の実施</p> <p>①芸術文化事業(児童生徒を対象とした芸術文化事業) ②学校公演事業(芸術文化による子どもの育成事業) ③芸術活動支援事業(アーティスト活動支援事業)</p> <p>①埋蔵文化財保存活用事業</p> <p>①公民館運営事業-広報事業 ②公民館運営事業-社会教育講座 ③公民館運営事業-体育・文化事業 ④公民館運営事業-ひとづくり、まちづくり事業</p> <p>①公民館施設等整備事業 ②明道公民館整備方針と加茂公民館移転事業 ①生活充実図書整備事業 ①文化ホール管理運営事業 ②淀江文化センター管理運営事業 ③公会堂管理運営事業 ④美術館管理運営事業</p> <p>①埋蔵文化財活用事業</p>

米子市教育振興基本計画体系図

基本目標	目指す子ども、青少年、成人の姿	基本施策	主な取組
<p>3 郷土で育む学びのあるまち</p> <p>米子の財産である豊かな自然や歴史・文化遺産を保護・保存・継承・活用していくとともに、その魅力と価値を発信しながら、市民が郷土に誇りを持つる字びの創造に努めます。</p>	<p>目指す子ども、青少年、成人の姿</p> <p>○ 米子の地理や歴史を学びながら、米子の自然や伝統・文化を理解しています。</p> <p>○ 郷土である米子を愛し、誇りを持ち大切にしています。</p> <p>○ 米子の自然や伝統・文化を理解し、継承・発信に努めています。</p> <p>○ 郷土である米子を愛し、誇りを持つてまちづくりを進めています。</p>	<p>3-1 歴史的文化的遺産の保存・活用</p> <p>3-2 地産地消の推進</p> <p>3-3 生涯学習活動の推進</p> <p>3-4 芸術文化活動の推進</p> <p>3-5 文化財の保存・活用</p> <p>文化振興課 学校給食課</p> <p>生涯学習課 文化振興課 文化振興課</p>	<p>①山陰歴史館管理運営事業</p> <p>①学校給食における地産地消の推進 ②生産者と児童生徒の交流の実施 ③児童生徒から募集した地元食材を利用した献立の提供</p> <p>①社会人向け講座開催事業-米子人生大学の開催 ②社会人向け講座開催事業-よなごアカデミーの開催</p> <p>①市民参加による芸術文化事業の推進 ②秋の文化祭の開催</p> <p>①中跡上定庵寺跡保存整備事業 ②埋蔵文化財センター管理運営事業</p>
<p>4 健康で安心して学べるまち</p> <p>生涯にわたり健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康に関する情報発信や啓発を行いながら、誰もが目的や年齢等に合ったスポーツに親しむことができる場の提供と全ての施設で安心して学べる環境整備に努めます。</p>	<p>○ 規則正しい生活をして、「早寝・早起き・朝ご飯」が実践できます。</p> <p>○ 生活の大切さを理解するとともに、スポーツを通じて健康的な体づくりを目指しています。</p> <p>○ 規則正しい生活と適切な食生活を送り、健康な体づくりに努めています。</p> <p>○ 自ら進んでスポーツに親しみ、体力の増進に努めています。</p>	<p>4-1 健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成</p> <p>4-2 子どものスポーツ活動の推進</p> <p>4-3 安全で安心な学校給食の安定供給</p> <p>4-4 食育の推進</p> <p>4-5 健康教育と家庭教育の推進</p> <p>4-6 成り年からのスポーツ活動の推進</p> <p>4-7 地域スポーツ活動の推進</p> <p>4-8 競技力の向上</p> <p>4-9 スポーツ施設等の充実</p> <p>学校給食課 スポーツ振興課 学校給食課 学校給食課 生涯学習課 スポーツ振興課 スポーツ振興課 スポーツ振興課 スポーツ振興課</p>	<p>①体力・運動能力の向上を図る取組の充実</p> <p>②健康教育の充実</p> <p>③いのちの教育の充実</p> <p>④安全教育の充実</p> <p>①親子体力づくり大会の開催 ②少年スポーツ教室の開催 ③小学生を対象とする各種大会の開催 ④スポーツ少年団運営事業</p> <p>①調理事業者との定期連絡会と調理場の定期検査の実施 ②学校給食運営委員会の開催 ③原簿生徒及び教職員対象に学校給食アンケートの実施 ④食物アレルギー対応の適正な実施</p> <p>①給食時間の学校訪問 ②授業への参画(チーム・ティーチング) ③食育に関する保護者への啓発</p> <p>①健康教育講座開催事業 ②家庭教育支援事業</p> <p>①各種スポーツ大会の開催 ②市民体育祭の開催 ③体力づくり歩け大会・体カテスト会の実施</p> <p>①スポーツ推進委員協議会運営事業 ②学校体育施設活用事業</p> <p>①スポーツ表彰事業 ②小学生全国大会出場激励金交付事業 ①体育施設管理運営事業 ②公園施設管理運営事業</p>